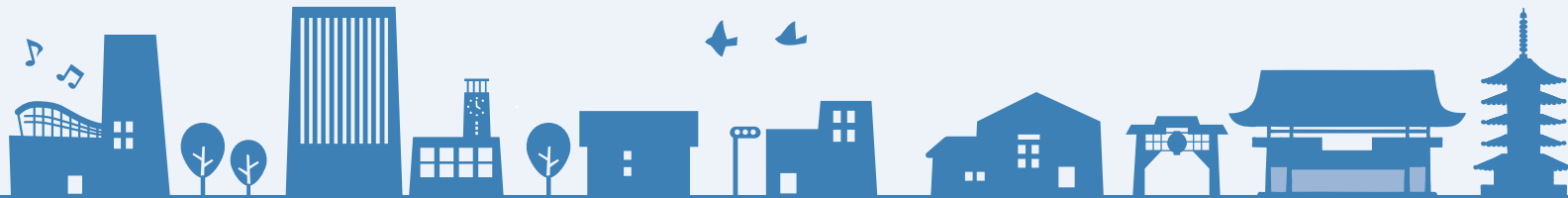


第**3**次川崎市教育振興基本計画

かわさき教育プラン

第1期実施計画



かわさき教育プラン
HPはこちらから



令和8(2026)年3月 川崎市教育委員会

はじめに

社会の変化が、これまでになく速く、そして複雑になっています。生成AIをはじめとするデジタル技術の進展や、価値観の多様化、働き方や生き方の変化により、一つの将来像を正解として描くことが難しい時代となりました。こうした中で、子どもだけでなく、すべての人が、自ら考え、学び続けながら人生を切り拓いていく力を身につけていくことが、より一層求められています。

正解を与えられるのを待つのではなく、自ら問いを立て、他者と関わりながら答えを探していく。その積み重ねこそが、不確かな時代を生き抜くための確かな力につながっていくのではないのでしょうか。私は、「教育」とは誰かから一方的に与えられるものではなく、一人ひとりの内側にある「学びたい」「やってみたい」「なぜだろう」と心が動く瞬間から始まるものだと考えています。生成AIをはじめとするデジタル技術が身近になる時代だからこそ、人が自ら考え、選び、行動することの価値は、これまで以上に大切になっていると感じています。

川崎の教育は、これまで、「キャリア在り方生き方教育」を全ての学校で計画的に推進し、誰もが自らの個性や能力を伸ばし、子どもが自らの生き方や将来について考え、主体的に歩んでいく力を育むことを大切にしてきました。学校の中だけでなく、地域や社会との関わりの中で学び、人と出会い、経験を積み重ねていくことが、人を育て、社会をつくっていく。その考え方は、今も変わらず、川崎の教育の土台となっています。

一方で、子どもたちを取り巻く環境は、ますます多様で複雑になっています。不安を抱えながら学びに向かう子ども、支えがなければ力を発揮しにくい子どももいます。だからこそ、挑戦する学びと同時に、安心して過ごせる環境や、一人ひとりに寄り添う支えが欠かせません。

また、将来の予測が困難な時代において、これまでの価値観や考え方に捉われず、生涯を通じて学び続け、学んだ成果を糧にして社会に参画していくことが大切となっています。

こうした思いのもと、今後12年を見据えた新たな「かわさき教育プラン」を策定しました。

本計画では、「一人ひとりが輝き、共に未来をつくる」を“めざすもの”として掲げています。これは、誰かと比べて輝くということではありません。一人ひとりが自分らしく学び、自分の強みを活かしながら、他者と協働し、社会や地域の未来を形づくっていくものと考えています。

また、“めざすもの”を実現するために「一歩、踏み出す」「自分の幸せ みんなの豊かさ」「多様性を可能性へ」という3つの価値観を、市民の皆様と共有しながら取組を進めていきます。この3つの価値観には、学びの場が、挑戦してもいい、失敗してもいい、そして違いが歓迎される場所であってほしいという思いが込められています。誰かの一歩が、次の誰かの勇気になり、自分らしさが、社会の力になっていく。そうした学びの積み重ねが、川崎の未来を形づくっていくと信じています。

教育委員会では、学びの主役である子どもをはじめとした市民の皆様とともに、学びを支え、つなぎ、伴走していきます。学校、家庭、地域、関係機関と力を合わせ、学びに心が動く瞬間を大切にしながら、共に未来をつくる川崎の教育を進めてまいります。

令和8年3月

川崎市教育委員会 教育長 落合 隆

目次

01	第1章 基本的な考え方	003
02	第2章 「めざすもの」と「みんなと共有したい価値観」	007
	1 「めざすもの」と「みんなと共有したい価値観」について	008
	2 「めざすもの」	009
	3 「みんなと共有したい価値観」	010
03	第3章 第1期実施計画	011
	1 第1期実施計画における基本的な考え方	012
	2 Key Project	013
	3 実施計画(施策及び事務事業)	037
	4 より豊かな学びに向けて～学校現場における取組～	051
04	第4章 進捗管理の考え方	059
05	資料編	061